

被覆方法の組み合わせによるリンドウ「ふくしまみやび」の開花時期の拡大

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜花き - リンドウ - 半促成

2 担当者

大竹真紀・鈴木宏和

3 要旨

リンドウ「ふくしまみやび」を安定的に出荷するため、被覆方法の違いによる開花時期について検討した。

- (1) ハウス + 内張の保温効果が高く、側芽発生から花弁抽出までの所要日数が短縮された。ハウス + 不織布区では、着蕾から花弁抽出までが短縮された(図1, 2)。
- (2) これらの被覆方法を組み合わせることにより、「ふくしまみやび」の開花期間が6月5半旬から8月2半旬まで拡大された(図3)。

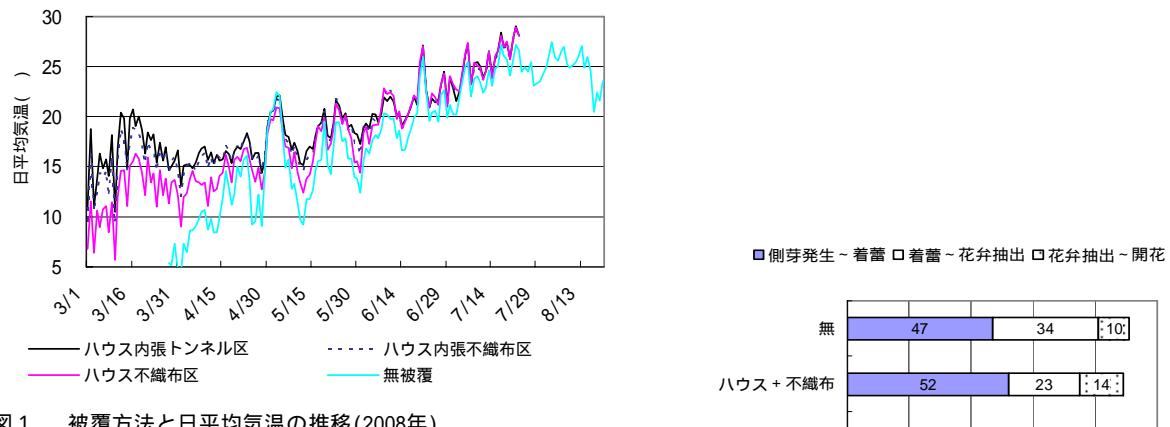


図1 被覆方法と日平均気温の推移(2008年)

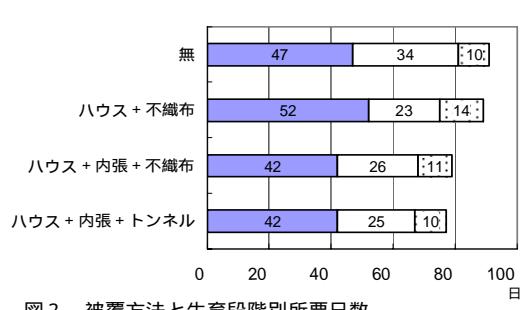


図2 被覆方法と生育段階別所要日数

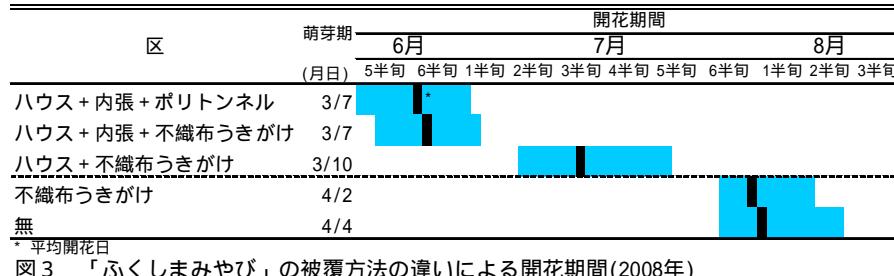


図3 「ふくしまみやび」の被覆方法の違いによる開花期間(2008年)

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成17年度福島県農業試験場試験成績概要(2005)
- (2) 平成18～20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2006～2008)